

埼玉県現代俳句協会報

第85号 (2023年9月20日)

「就任にあたって」

埼玉県現代俳句協会会長 杉本 青三郎



この度、はからずも会長に就任しました杉本青三郎です。杉本だけでなく、新たに田中朋子さんと渡邊樹音さんが副会長に、事務局長に大川原弘樹さん、事務局次長に中野博

夫さん、会計係に田口武さんが就任され、新しい体制で、埼玉県現代俳句協会を運営していくことになりました。しかしながら何分にも不慣れであり、皆様にご迷惑をかけるかもしれませんが、宜しくお願い致します。

さて、現代俳句協会並びに埼玉県現代俳句協会の一番の課題は、会員の減少を食い止めることです。現俳でピーク時に一万人近くいた会員は半分以下、埼玉現俳も同様に、ピーク時650人いた会員も半分以下になっています。ちなみに、現代俳句協会は四月に「一般社団法人」となり、新しい一歩を踏み出していますが、法人化を記念して特典付きで新規会員の入会キャンペーンを行ってい

ます。会員の皆様の俳句の友人や知人でまだ協会員でない方がいらっしゃいましたら、この機会に是非入会をお願い致したく（現俳の事務局または埼玉現俳の事務局へ一報頂きたく）宜しくお願い致します。

また、現代俳句協会の「一般法人化」に伴い、現俳と埼玉現俳の関係が従来と変化してくる事項があり、運用を再検討するケースが出て来ますが、他地区協会の状況を確認しながら、慎重に行っていきたいと考えています。

なお、これからの埼玉現俳の運営課題は、今迄活動してきたことを、再点検し、継続して行うことと、見直すことを整理して行っていきたくと思っています。俳句大会等の伝統ある行事の継続実施、広報等費用を削減できる活動は出来る限りの費用削減を行っていく計画であります。個人的に、俳句は自由で、楽しくて、面白いものであるし、実際自由で、楽しくて、面白くなければならぬ文芸であると思っていますので、埼玉県現代俳句協会の活動も、自由で、楽しくて、面白くなるように行っていきたくと思います。皆様のご協力を、宜しくお願い致します。

第四十五回 埼玉俳句大会

— 埼玉県芸術文化祭2023協賛事業 —

令和5年7月8日、春日部市民文化会館にて開催されました。講演は柏田雄三（昆虫芸術研究者）先生の「昆虫の句碑を訪ねる」

《事前投句による各賞受賞作品、入選作品》

第1位 埼玉県知事賞

風薫る切株と言う自由席

豊田 いと

第2位 埼玉県教育委員会教育長賞

夏木立行間狭き文庫本

中村 香苗

第3位 埼玉県芸術文化祭実行委員会会長賞

どこにでも水のある国遠郭公

鈴木 良二

第4位 埼玉県芸術文化祭奨励賞

長寿より先ずは生き甲斐葱坊主

江口 武夫

第5位 埼玉県芸術文化祭奨励賞

この家は玄関ふたつ燕来る

田中 朋子

第6位 埼玉県芸術文化祭奨励賞

薫風や校歌は山河讃へつつ

伊藤 恭子

第7位 春日部市長賞

ラジオごと脚立の歩く袋掛

小山 敏男

第8位 埼玉県俳句連盟会長賞

万緑や人には笑みという力

斎藤 久子

第9位 埼玉県現代俳句協会会長賞

墓に水さつきまでいた青蜥蜴

金子 和美

第10位 入選

しゃぼん玉の中に戦車を封じ込む

山崎 十生

第11位 入選

三鬼の忌がんじがらめにハムの糸

益子さとし

- 第12位 入選 鳥雲に入る鉄棒に段差 齊藤 京子
- 第13位 入選 憲法記念日ころばぬやう歩く 久下 晴美
- 第14位 入選 曲る音ぶつかる音も春の川 栗原かつ代
- 第15位 入選 古利根に茅花明りのような悲話 越川ミトミ
- 第16位 入選 水底を日の斑の遊ぶ夏はじめ 加藤 吟子
- 第17位 入選 初燕遺影は永遠に笑みこぼす 金子 斐子
- 第18位 入選 遠雷や水の匂ひの風渡る 中島 みつ
- 第19位 入選 メーカーの列のしんがりベビーカー 松島 洋一
- 第20位 入選 味わいて生きる途中の蓬餅 川島由美子
- 第21位 入選 歩き神今日は菜の花まみれかな 篠田 悦子
- 第22位 入選 雪解雫やおもち箱から戦車 田中美佐子
- 第23位 入選 山ほどの聞きたきことが蟬の穴 浅野 都
- 第24位 入選 だんご虫おこしてやればすむものを 北上 正枝
- 第25位 入選 真つ直ぐな少女の脚に夏来る 大塚とも子
- 第26位 入選 濁世から濁世へ潜る茅の輪かな 菅沼 葉二
- 第27位 入選 若葉風轆轤の泥が立ち上がる 境 延昭



会場風景

- 第28位 入選 浮いてこい死ぬこと以外かすり傷 藤澤 晴美
 - 第29位 入選 紙飛行機たんぼの野へ着陸す 鈴木 砂紅
 - 第30位 入選 イヤホンの中に逃げ込む大雷雨 対馬みつ子
- 《当日句会入賞句》
- 第1位 春日部市長賞 遮断機の棒一本の暑さかな 増田 信雄
 - 第2位 春日部市議会議長賞 逆さまにこの世を見てる女郎蜘蛛 加藤いさむ
 - 第3位 春日部市教育委員会教育長賞 かたつむり躰くことのなかりけり 小林 京子
 - 第4位 春日部市芸術文化振興会会長賞 初蟬はやはり耳鳴りとは違ふ 田口 武

- 第5位 埼玉県俳句連盟会長賞 働かぬ影にも水を打ちにけり 折原野歩留(辞退)
- 第6位 埼玉県現代俳句協会会長賞 夾竹桃ずっと昭和を語り継ぐ 中村 香苗
- 第7位 春日部市俳句連盟会長賞 蜘蛛の囲や仁王一步を踏み出せず 大塚とも子
- 第8位 入選 父を置く船を見ている籐寝椅子 杉本青三郎
- 第9位 入選 風鈴が真犯人を知っている 山崎 十生
- 第10位 入選 涼風に出会へる地点まで出向く 浅野 都
- 第11位 入選 沢蟹のむずむずその手忘れない 堀之内長一
- 第12位 入選 ケチャップは好きでトマトの嫌ひな子 齊藤 利彦
- 第13位 入選 風鈴に津軽訛りの残りをり 阿部 功
- 第14位 入選 割り付けを考えている蝸牛 田中 朋子
- 第15位 入選 目覚めたり戦の記憶古代蓮 後藤よしみ
- 第16位 入選 生き様の人それぞれにへば胡瓜 高梨 武州
- 第17位 入選 老いにけり杖にも使ふ白日傘 保坂 翔太
- 第18位 入選 芭蕉句碑前もうしろも苔の花 高稿 湜子
- 第19位 入選 死せる眼に夏空の在りすずめ蜂 高稿 邦夫
- 第20位 入選 蒲の穂や子は母となり父となる 石原 道明

第6回 俳句四季新人奨励賞受賞

第11回俳句四季新人賞(東京四季出版)において内野義悠氏が俳句四季新人奨励賞を受賞されました。

夜へ跳ねて

内野 義悠

はつゆきやレプリカユニフォームの集ふ

正論を隠して長すぎるマフラー

狐火やデータのまの写真たち

雪しんさんカップスープにゆるるき渦

はぐらかす質問寒紅をぬぐひ

夕焚火知りすぎぬやう夫のこと

溜まりゆくコスメサンプル春隣

ハンドルのない席野火のうるさい瞳

さめぎはの淋しい鼻梁流水来

胎名を授けてよりの水温む

烏雲に入る乗り捨てのレンタカー

カラメルを煮詰む匂ひも遅日かな

ヒヤシンス濡髪のまま諍へる

拭へないかけろふ權の重くなる

葉桜がざわめく喋りつづけねば

みどりの夜どれかは効いてゐるサブリ

ひるがへる鬩魚や眠るだけの部屋

飲み込みし言葉プールの乱反射

遠雷や甘噛みの歯のやがて牙

青葡萄ひと粒ささやかな反論

沖の月涼しマドラーそつと抜く

エーデルワイス真夜中の長電話

秋風や触れられて知る剃り残し

ジョーカーのちらちら見えてゐる良夜

どんぶりの底の屋号や天高し

飛ばせない動画広告小鳥来る

蛇穴に入るすり替へらるる記憶
折り合ひのつくまで霧へ浸す唇
林檎剥くとき誰からもとほき吾
夜へ鹿跳ねて独語のはじまりぬ

会報編集雑感

小川 紫翠

結社に入会してようやく俳句生活に慣れたころ、

先輩から結社は縦社会だから、横社会の俳句の団体に加入したほうがよいと言われ、先輩のすすめる現代俳句協会に入会する。そのまま入会できるものと思っていたのだが、選挙に当選して始めて会員になれるとのこと。それでは入会は無理と思って聞いたら、先輩が後は俺が何とかするからと言われ半信半疑でいた。現代俳句協会の会報に入会希望者の氏名が発表になり、あとは投票の結果を待つことになる。

入会希望者の発表後に何人かの方から投票するからという連絡をいただいた。うれしかったが、これだけではとても無理なのではと思っていたら、大丈夫だから心配しないように言われた。結果は思ったより多い票で、めでたく入会できた。先輩の勧めがなければ、私の俳句生活は全く違っていたような気がする。それまでは結社だけの活動であったが、協会に入ること幅広い交流が開けた。

そこからだいぶ後のことになるが、埼玉県現代俳句協会の事務局長の就任依頼を受けた。当然お断りしたのだが、結果的にお受けすることとなる。

事務局長がどのような業務を担当するのか全く理解しておらず、心もとない状況での受諾となった。

業務を始めて驚いたのは、大半が事務局長の担当業務になっていたことであつた。

平成十六年三月発行四十六号の巻頭ページの原稿依頼を受けてから、会報を強く意識するようになった。しかし自分が会報の編集をするようになるとは夢にも思わなかつた。

大会、吟行会、作品展、会報の編集等他の業務もあるが、今回は会報の編集について触れてみたい。まず以前発行の会報を参考に進める。今まであまり丁寧に会報を読んでいないので、現在手元にある会報を読み、編集傾向を理解することにとめた。その時に平成十年一月発行五十五号、総ページ数八ページの現代俳句協会の会報を見つけた。ページ数がすくないのに意外な感じがした。

私の手元にある一番古い埼玉県現代俳句協会の会報、平成七年九月発行二十九号は十二ページで現在の会報と遜色が無い。

会報の編集は、第一に会報の総ページ数、巻頭ページと二ページ、最終ページ、各ページの割り振りを決めて、内容の検討をする。内容決定の後、原稿依頼となる。

通常は何人かの編集委員がいて、編集会議を開き毎回の編集内容を検討し進めるものと思うが、すべて一人での編集に、初めてのこともあり困惑した記憶がある。

会の運営を円滑に進めるためには、業務の分担を決めて事業を進める必要があるように感じた。私の後任の方には是非この点を改善して頂くようお願いした。

第一、年間の行事を分担する。

第二、県内をブロックに分ける。

第三、各ブロックに代表を置く。

第四、各ブロックから会報編集委員を推薦していただく。

第五、分担行事はブロック単位で交代に実施する。

以上のことを決めていただき、業務が特定の方に集中しないよう改善をお願いした。

これから活動について

新しくブロック長に就任されました5ブロック長に活動の抱負を伺いました。皆様のご支援とご協力をよろしく願っています。

■ 県南Aブロック

後藤よしみ

埼玉県現代俳句協会は今年で創立四十五周年を迎えた。『金子兜太戦後俳句日記』を紐解くと、「(一九七八年)十一月十二日(日) 赤城山から浦和の現俳協埼玉協議会準備会へ。埼玉会館。予想以上の集まりの由。議長、佐久間東城」とある。佐久間氏は、初代の会長である。それまでは大きな地方ブロック単位の協議会であったが、会員の増加に伴い、都道府県単位の協会設立の嚆矢となっている。

さて、現在、協会は県下で七ブロックに分かれて活動を展開している。当Aブロックは川口・戸田エリアであり、十九名の会員を擁す。今期より新任の後藤が担当となる。そこで、現状についてと今後の展望について私見を申し上げ、皆様のご理解とご協力を願いたい。

一、現状について

まず、ブロック会員数が少ないこと。県下三百名弱を有するが、新入会員を加えて十九名。活動の活性化と会員数を増やすことが第一の目標である。次に、前山崎会長、現杉本会長をブロックより輩出している。地元の活動の活性化、後進育成が望まれる。そのために句会も含め、会合、懇親

の交流が大切である。

二、展望について

以下は現時点での私見であり、皆様のご意見を賜りたい。まず、基盤はブロックでの交流により、俳句への思いを紡いでいきたい。交流により会員の見える化を図られ、絆ができ、活動に活気が生まれる。そのことで、県下での各行事への参加、および運営協力などが進められる基盤となる。

三、具体的活動

当ブロックでも実績があり、他ブロックでも行っている句会開催である。

まず、通信句会を行ないたい。その際に、会員通信を作成し、句会参加以外の文章を掲載し、会員相互の交流を図る。具体的には次の案を考えている。

- ①句会、投句作品とコメント(鑑賞)欄。②近況報告(自由に身辺雑記など)。③感銘句・愛唱句(好きな句と一文)。④俳人探訪(愛する俳人とその思い)。
- ⑤ご自身の愛蔵句(ご自分らしい句紹介)。⑥ブロック・県協会へのご意見・ご要望等その他。

次に「埼玉現代俳句協会ネット句会」へのご参加である。コロナ化に発足し、現代俳句協会のホームページから参加できる。会員の交流、研鑽に資している。いろいろな鑑賞を寄せてもらえ、勉強となっている。

三番目に県行事へのご参加、および交流である。年間行事の場での交流、あるいは地元での交流を図っていく。

いずれにしても皆様のご意向に沿って行えればと思う。そのため、ご連絡を差し上げ、ブロック独自のものを作っていければと願う。皆様とお目にかかれる日を楽しみとしたい。

■ 県南Cブロック

保坂 翔太

過去三年余の俳句界は、コロナ禍の中、活動を制限されてきましたが、本年になって、ようやく俳句活動を計画通りに進めることができそうな状況になってきました。

コロナ禍にあつては、Cブロックでは前ブロック長の導きにより通信句会を実施してまいりました。これからは、通常の俳句活動が実施できそうですので、本年度ないしそれ以降の活動については、Cブロックとして次のように考えております。

一つには、引き続き通信句会を実施したいと考えております。その際に、それ以後に吟行会を計画するに当たり、参加可否のアンケートを同封して参加人数をあらかじめ確認した上で、吟行会を実施したいと思っております。

二つには、Cブロック内の各結社のうちに設けられている句会と句会同士で、合同句会を開きたいと考えております。

三つには、Cブロック以外の各ブロックの各結社の皆様と交流ができれば素晴らしいことであり、それが可能なかを模索して行きたいと思っております。以上のことを通して、交流の輪を広げたいと考えております。

■ 入間・比企ブロック

大川原弘樹

会員の高齢化やコロナ感染の猛威という不測の事態に見舞われ、現在その活動は低空飛行になっていると言わざるを得ない状況にある。川越句会との名称による年四回開催の句会も会場を設けるかたちで

なく、もっぱら通信句会に移行し悪い意味で落ち着いてしまっている。

ブロック中もっとも広範囲ながらその特性を活かせずにいるのはいうまでもなくこちらの不甲斐なさに因るところ大だが、若い人材の参加を求めて中長期的な展望を掲げ、自らが動いて現状打破に取り組んでいかないと、近い将来いよいよ幽霊会員の巣窟になってしまいうという見通しを否定できない。

ブロックの集まりについても工夫をめぐらす余地がいくらでもありそうだ。年齢は高めとはいえ、デジタルツールを若年者並みに使いこなす方もいる。

何でも若ければいいというものではないことは、協会で関わった諸先輩方ははずとも証明頂いているのだが、一方、そのスピードは遅々としたかたちではあっても、どうしても若返りをはかつていかなければ仕方がない状況にあるのは明白だ。

負担軽減や若手の登用促進という点からも、紙媒体主の運用から電子媒体主の運用への移行は必要且つ不可避だと言え切れる。同様な状況把握を持っていく方に、その力を貸していただきたいとこの場を借りて呼びかけたい。若い力を求む！

熊谷ブロック

神田 一美

熊谷ブロックでは変化はなかったが、県では、山崎会長から杉本会長へと、四月から新体制となりました。「これからの活動について」ということですが、新体制に期待するとともに、総会・一句会、俳句大会、吟行俳句大会など、会員の出会いの場を大切に考え、できるだけ参加できればと思います。そして、ブロック内でも会員の出会いの場が充実できればと考えていますが……。

しかし、現実として、諸事情により参加できないことは、充分あり得ることです。そこで、郵送により、PCの通信により、会報により……、県の先生方を講師としてブロックへ来ていただき、ブロックの句会に参加いただく……、いろいろ考えられます。「俳諧自由」であり、さまざまな活動が考えられますが、会員の出会いの場の創造を基本とし、無理なく、できることから実践できればと考えます。

埼玉ブロック

鈴木 砂紅

今年度より埼玉ブロック長を拝命致しました鈴木砂紅と申します。不慣れではありますが、どうぞ皆さまのご協力をお願い申し上げます。

まずご報告ですが、埼玉ブロックが担当致しました七月八日の俳句大会は、幸いにも多くの方のご参加を頂き、盛会のうちに終えることが出来ました。本当に有難うございました。柏田雄三先生のご講演は俳句と虫の楽しい発見があり、また懐かしい方々とも旧交を温めるなど、実り多き一日となりました。これもひとえに高橋邦夫前ブロック長のご尽力の賜物と、心より御礼申し上げます。

さてこれからの活動についてですが、ブロックの会員による通信句会を実施してみたいと考えております。その理由としては左記の通りです。

- ①会員数が四七名で全員が参加する句会の開催が難しい
 - ②コロナ禍に加え会員の高齢化などによる句会の開催が難しい
 - ③コロナ禍によって交流が少なくなりお互いに氏名も知らない方が多い
- という訳で、時間も場所も限定されない通信句会な

ら、皆さまも参加しやすいのではないかと考えました。埼玉ブロックにはどんな方がいて、どんな句を作るのかなという私自身の好奇心も勿論大きな動機となりました。

九月頃にはご案内をお届けしますので、是非ご検討頂き、大勢の方にご参加頂ければ幸いです。

会計をお引き受けして

田口 武

新会長の杉本青三郎さんが高校生の頃から「歯車」でお付き合いをさせていただいていています。その杉本さんから会計の声がかかったとき、苦手な分野ですが断り切れずにお引き受けすることになりました。至らないところが多々あるだろうことは想像に難くありませんがよろしくお願いします。現時点で感じたことをちよつと……。郵便局の振込用紙には、赤いものと青いものがあり、青いものは払い込む人が手数料を払い、赤いものは受け取る側が手数料を払います。当会は赤いものを使用していますので、会で手数料を払っています。現時点で百六十五名の振り込みがあり、手数料は約三万二千円です。青いものでも会に手数料が発生するのですが、それほど額ではありません。会計に余裕があるわけではありませんので、今後、青い振込用紙に変更するか等、検討の余地がありそうです。また、会計年度は一月一日から十二月三十一日までですが、事業年度は四月一日から翌年の三月三十一日まで運用しているように思えます。そうなると、当年の一月一日から三月三十一日までの会計が微妙です。親睦を目的とした会でもあるので細かいことは不要といえるかもしれませんが、今後明確にするべき事項ではないかと感じていきます。

第30回 埼玉県現代俳句協会 I T 句会

埼玉県現代俳句協会会員限定の句会、3句出し(無季可)で5句選(特1・並4)。特選は2点の扱い。各々切は自動進行で行います。投句は「未発表句」に限り、投句された作品は句会終了後、「既発表句」扱いとします。

《第30回 結果発表(7月20日)》

扇風機OFF戦争が終わらない
 烏瓜咲き夜を乗り継いでゆく
 投げ捨ててラストスパートサンングラス
 夏風邪や百から七を引いてゆく
 コンビニの隣コンビニ炎天下
 また一人人影を失う黒日傘
 草いきれ傭兵どれも口開けて
 蜘蛛の囀の彼方にスカイツリーあり
 遠雷や人手不足といふ巷
 あめんぼの入水許さぬ水の張り
 サイテーな気分のまんま水を打つ
 仏桑花血の色に燃ゆ沖繩忌
 後日談はざは空の香水瓶
 たましひは小さくて大き釣鐘草
 何の非を咎めしか雷怒りおり

《第29回 結果発表》

太陽を粉々にしてあめんぼう
 花棟しばらく空に絹の道
 青柿のこつんと黙が落ちて
 浮いてこい人に興味がないわたし
 ひとところ時留まりゆく蓮浮葉
 玉葉ごつくり母はいつでも楽天的
 回されて停められて夜の扇風機
 裸のような素朴な名前の勝ち

宮澤 順子
 杉本青三郎
 堀田 福朗
 金子 和美
 田中 朋子
 後藤よしみ
 堀之内長一
 山崎 十生
 坂川 花蓮
 木村 隆夫
 藤澤 晴美
 哲 菴
 内野 義悠
 長 門
 中野 博夫
 宮澤 順子
 堀之内長一
 中野 博夫
 宮澤 順子
 長 門
 杉本青三郎
 田中 朋子
 藤澤 晴美
 内野 義悠
 堀之内長一
 中野 博夫
 宮澤 順子

縞蛇の轢死を些事に五月間
 どくだみやドラックストア並ぶ街
 六月の悲しみ刻むシュレッダー
 蜚言有象無象がついてくる
 尺蠖や地雷踏んだり踏まれたり
 老鷲の止り木胸に一つかけ

堀田 福朗
 坂川 花蓮
 木村 隆夫
 延 昭
 金子 和美
 後藤よしみ

埼玉県現代俳句協会参加マニュアル

第玉県現代俳句協会では、インターネット句会を開催しています。
 参加してみたいという方の参考になるよう。手順を紹介しますのでお試しください。

《まず会員登録から》

- ① 「現代俳句協会ホームページ」画面を開く
- ② 「インターネット句会」をクリック
- ③ 次に「新規登録はこちら」をクリック
- ④ 登録に「必要事項を入力」し、「登録する」をクリック

《次に投句をする》

- ① 「インターネット句会画面はこちら」をクリック
- ② 次に画面内「ID」と「パスワード」を入力し、「ログインする」をクリック
- ③ 次に画面(句会一覧)「埼玉県現代俳句会 投句する」をクリック
- ④ 次の画面で「句会パスワード」[sty819]を入力
- ⑤ 作品を入力し、最後に「決定」をクリック
これで終了です。

第21回吟行俳句大会は ネット句会に変更して実施

今回開催予定の第二十一回埼玉吟行大会は、会員間にもパソコンが普及してきたことからネット句会への変更を予定しております。

ネット句会「俳苦天国」を立ち上げ、そこで埼玉県現代俳句協会の俳句大会を実施

投句期間：10月1日～10月10日まで

1人2句

選句期間：10月10日～10月20日まで

特選は設けない

8句選句

選句募集から切り替え後、結果は自動集計
 高句順に掲載
 参加費無料

「メールアドレス&参加者用パスワード」

俳苦天国を以下のように設定しました。

<https://haiku.upat.jp/tengoku>

パスワード：819gk

あるいは「俳句の壺」を検索して

句会名：俳苦天国

パスワード：819gk

《事務局長兼人間比企ブロック長 大川原弘樹》

新会員

長瀬昌文(川口市)

逝去

宮崎紫水、伊藤和子、小泉 信

*謹んで御冥福をお祈り申し上げます

第21回 埼玉県現代俳句大賞作品募集

◆ 作品

- ① 未発表作品（厳守）15句（1人1編に限ります）
- ② 原稿は楷書で丁寧な書き、題名を付すこと。前書き不可。
- ③ 所定の原稿用紙の他、ワープロ等で作成した応募も受け付けます。
- ④ 極端な類想があった場合は入賞を取り消します。

※選者・正賞既受賞者は応募不可

◆ 応募資格

埼玉県現代俳句協会員（年会費既納者）

◆ 応募費用

応募費用…1000円

◆ 応募締切

令和5年10月17日（火）厳守（今回、電子メール受付はありません）

◆ 選考委員

桑原三郎 島田妙子 山崎十生 杉本青三郎 関田誓炎 加藤いさむ 石寒太郎 岩淵喜代子 原雅子 山本鬼之介 後藤章 網野月を 田中朋子 渡邊樹音 堀之内長一

◆ 顕彰

① 大賞1名 賞状・賞金（3万円）
② 準賞若干名 賞状・賞金（1万円）
③ 佳作若干名（記念品）

◆ 発表

令和6年3月20日
埼玉県現代俳句協会定期総会席上
応募受付…
令和5年8月1日（火）～10月17日（火）厳守
応募宛先…〒360-0816
熊谷市石原100-1 森由美子方
埼玉県現代俳句協会俳句大賞係
（電話）048-524-0834

◆ 主催

俳句大会等順番表（令和6年～12年）

	俳句大会	吟行会	定期総会・一句会
令和6年(2024年)	県南C	熊谷	秩父
令和7年(2025年)	北埼玉	秩父	熊谷
令和8年(2026年)	県南B	県南C	埼葛
令和9年(2027年)	県南A	県南B	県南C
令和10年(2028年)	秩父	県南A	入間・比企
令和11年(2029年)	入間・比企	埼葛	県南A
令和12年(2030年)	熊谷	北埼玉	県南B

《86号の諸家近詠の一句を募集！》

下記の葉書を使って御応募下さい。
63円切手を貼って投函ください。
たくさんの皆様の御応募をお待ちしております。

キリトリ
郵便はがき

〒362-0043

中野博夫行

上尾市西宮下2-74

【通信欄】

事務局便り（今後の予定）

◆ ブロック長会議の開催

令和5年11月19日（日）
さいたま文学館 講座室Ⅱにて13時から

◆ 理事会の開催

令和6年2月18日（日）
さいたま文学館 講座室Ⅰにて13時から

《定期総会》

令和6年3月20日（水）
さいたま文学館 文学ホールにて13時から

※当日一句会を予定 詳細は後日連絡
担当 秩父ブロック

キリトリ

63円切手を貼ってください。

埼玉県現代俳句協会顧問・参与及び役員

山崎十生前会長の退任に伴い、新役員が就任しました。新たな体制で今後運営をしていきますので皆様のご支援よろしくお願ひ申し上げます。

〈顧問〉 鳥田妙子・桑原三郎・山崎十生

〈参与〉 石寒太・岩淵喜代子・中村武男・
関田誓炎・加藤いさむ

〈会長〉 杉本青三郎

〈副会長〉 堀之内長一・田中朋子・渡邊樹音

〈理事〉 ◎はブロック長

県南Aブロック ◎後藤よしみ・知念哲庵・篠原葦

県南Bブロック：◎山本鬼之介・高橋比呂子・

鳥海美智子・日高道を・青木鶴城

県南Cブロック：◎保坂翔太・石井喜恵・中野博夫・

染谷風子・菅原卓郎

入間比企ブロック：◎大川原弘樹・北上正枝・

飛鳥慧・望月宮子

秩父ブロック：◎福島ときみ・新井史子・藤澤晴美

熊谷ブロック：◎神田一美・吉澤祥匡・長谷川順子・

渡辺智恵

北埼玉ブロック：◎折原野歩留・小川紫翠・福島芳子・
江原正子

埼玉ブロック：◎鈴木砂紅・尾堤輝義

〈監事〉 知念哲庵・篠原葦

〈幹事〉 事務局長 大川原弘樹
事務局次長 中野博夫

〈会計係〉 田口武



堀之内長一
副会長



田中朋子
副会長



渡邊樹音
副会長



大川原弘樹
事務局長



中野博夫
事務局次長



田口武
会計担当

2023年度会費納入のお願い

年会費 1,000円

会計担当 田口武

住所 〒363-0020 埼玉県桶川市上日出谷南
1丁目72番地13

電話 048-786-6486

振込 「ゆうちょ銀行 038(普)8610105
埼玉県現代俳句協会」

第 85 号 令和 5 年 9 月 20 日 発行

発行人 杉本青三郎

発行所 埼玉県現代俳句協会

〒332-0012 川口市本町2-6-22-103

電話 048-225-5603

編集責任者 田中朋子

事務局長 大川原弘樹

〒350-1335 狭山市柏原2837-2

電話 080-1244-9259

事務局次長 中野博夫

〒362-0043 上尾市西宮下2-74

電話 048-773-4673

会報編集委員 江原正子、田口武、中野博夫、田中朋子

印刷所 コーチ印刷

キリトリ

電 氏 住
話 名 所
(ふりがな)

〒 -

キ
リ
ト
リ

俳
号

86号諸家近詠一句

(締切11月30日厳守)